

4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1改善を要する

- 1 学校の教育目標「自ら学び、豊かな心とたくましく生き抜く力をもち、ふるさとを愛する児童の育成」
- 2 めざす児童像「自ら進んで学ぶ子」「礼儀正しくやさしい子」「心身ともにたくましい子」
- 3 めざす学校像「落ち着いたある学校」「安心・安全な学校」「美しい学校」
- 4 めざす教師像「分かる授業を行う教師」「人間性豊かな教師」「覇気のある教師」

<学校経営ビジョン> 「職員総力戦で」を合い言葉に、児童に対する深い愛情と教育に対する情熱・使命感をもって指導に当たり、「児童が明日の登校を心待ちにする」学校を目指す。

重点目標	具体的目標	自己評価結果(成果と課題)	評価	学校運営協議会委員意見等
1 学力向上 <知育> 	1 授業力を向上させることで「分かる授業」を目指し、基礎基本の定着を図る。 2 授業と連動した家庭学習・意欲の高まる家庭学習の在り方を研究し学習成果を上げる。 3 読書意欲を高め、一人年間100冊以上の読書を目指す。	○ 本年度は高崎地区が小中一貫学力向上の指定を受け、9年間を見通した授業改善を行うことで、学力向上に取り組んだ。 ○ 校内においても研究授業を行うことで、授業力向上に向けて、教師同士が学び合い高め合うことができた。 ○ 「家庭でつくる8つの習慣」を作成配付し、保護者への協力を依頼することができた。 ○ 学校での読書量については減った児童もいたが、アンケートの結果では、保護者、児童とも昨年度より評価が高くなっている。 △ 基礎基本の定着、家庭学習の充実、読書に親しませることについては、個人差が大きいので、今後とも個別指導に力を入れていく必要がある。	3	○ 授業を参観する機会もあり、先生方の学力向上に向けての努力がよくわかった。今後も学力向上に向けてしっかりと取り組んでほしい。 ○ 支援の必要な児童に対して、学校内でも工夫して対応していただいている。 ○ 「家庭で作る8つの習慣」をさらに活用して保護者との連携を深める。 ○ 読書については、読み聞かせボランティアの方々の関わりなどすばらしい取組が継続されている。
2 豊かな心の育成 <徳育> 	1 常時指導を通して「元気な挨拶」のできる児童100%を目指す。 2 道徳教育・人権教育に力を入れ、人の心の痛みの分かる優しい心を育む。 3 特別支援教育体制や教育相談体制を充実させ、温かな人間関係を育てる。	○ 各地区公民館の方々の月1回のあいさつ運動や読み聞かせボランティア、見守り隊等への感謝集会をもつことで、子どもたちに感謝の気持ちを育むことができた。 ○ 1月の参観日に全校一斉の道徳の授業公開を行い、道徳教育に対する保護者への理解を深めるきっかけとした。 ○ 個別の指導計画を作成し、関係機関とも連携しながら、特別支援教育の充実を図ることができた。 ○ アンケートの結果から、「楽しい学校生活」の項目が保護者、児童ともA、B評価が100%であり、概ね満足していたと評価できる。 ○ 全職員で全校児童を見守り、声かけを行う体制ができ、子どもたちに寄り添う指導ができた。 ○ 毎月のアンケート、教育相談の実施により、子どもたちの悩みに素早く対応し、先手の指導を行うことができた。 ○ いじめや不登校に対しては、早期発見、早期対応を心がけた。	3	○ 登校時の挨拶はよくできている。元気な挨拶がいつでもどこでもだれにでもできるようにして欲しい。来年度も地域と連携してあいさつ運動を行い、地域にあいさつの声を響かせて欲しい。 ○ 高崎地区人権教育研究大会の授業を参観させていただいたが、どの学級も子どもたちが真剣に授業に参加しており、すばらしかった。
3 健康でたくましい体の育成 <体育> 	1 日常的に立腰指導の徹底を図り、粘り強い心身を育む。 2 日々の体育の授業や継続的な運動を行うことで体力向上に努め、全校児童欠席0の日、年間120日以上を目指す。	○ 養護教諭を中心にして、根気強く、立腰指導を行うことができた。 ○ 立腰指導強化月間の一斉指導を子どもたちが分かりやすい方法で行うことができた。 ○ 体力テストの結果、5段階評価のD・E児童が増加したため、体育の時間を通じて様々な運動を積極的に行った。 △ 欠席ゼロ年間120日をめざしたが、3月6日現在で94日、達成は難しい状況である。	3	○ 家庭環境によって、登校の様子も違って来る。学校だけではなく、地域も家庭に積極的に働きかけていきたい。 ○ 体力テストで劣っているところを強化していく。
4 家庭・地域との連携 	1 学校便り・ホームページ等を通して情報を公開するとともに、地域会議・行事にも積極的に参加し、連携を強化する。 2 学校運営協議会との連携を深め、学社融合の関係を育む。	○ 菅原神社夏祭り、合同運動会、高崎地区体育祭、駅伝大会、挨拶運動などを通して、地域の方々とつながりを強めることができた。 ○ みやざき子ども教育週間(オープンスクール)には、地域の方々を多くお招きし、子どもたちとのふれあい活動を行った。大変有意義な時間となり、高齢者の方々も喜ばれる活動となった。 ○ ホームページを定期的に更新し、たくさんの方々に見ていただくことができた。 ○ 高崎地区小中一貫教育研修会には運営協議会委員の皆様にも参加していただき、現状を知っていただくきっかけとなった。 ○ プール清掃ボランティアを募集したところ、地域の方々に協力していただくことができた。	4	○ 地域の行事等に児童や保護者も積極的に参加している。 ○ 「地域に開かれた学校」という印象がある。オープンスクールも大変良かった。来年度はもっと地域に呼びかけ、多くの方々に参加していただきたい。 ○ 菅原神社夏祭り、合同運動会、高崎地区駅伝大会、挨拶運動などを通して、学校と地域が密接につながった活動ができていた。他の地域の方々からもうらやましがられるほどだった。

